

【参考】

令和3年度「地方公共団体の地域課題」概要

課題番号	分野	対象地域		地域課題の概要及び希望するICTソリューション
1	公共サービス	秋田県	由利本荘市全域	<p>●マイナンバーカードを活用した地域振興 本市のマイナンバーカードの普及率は約31.9%(令和3年11月1日現在)で全国平均・県平均よりも低い水準となっており、市民の理解を得られるような市独自の利活用方法を検討している。 ついては、企業や他の自治体において、自社施設、図書館など公共施設や公共交通機関等を活用した取り組みの共同研究、あるいは事例の紹介をお願いしたい。 なお、新たな予算措置を伴わないなど、費用対効果や必要な設備についても配慮いただきたい。 また、マイナンバーカードを活用した企業や自治体での職員管理、労務管理、入退管理、人事管理など共通系システムでの成功事例の共有をお願いしたい。</p>
2	統合型GIS	秋田県	由利本荘市全域	<p>●統合型GIS ①市の政策や地域課題を把握・分析するうえで、視覚的に評価できるGISは非常に有用であると考え。広大な面積を持つ本市においては、なおその価値が高いと考える。 ②一方で、市職員の減員、かつ業務の質量の増加・範囲拡大により、GISのデータ維持管理が難しくなっている。今後はますます難しくなるものと予想される。 ③住民向けのGISは自治体レベルで整備しても、住民の利便性向上とはなりにくく、全国レベルで利用されているアプリへの展開が必要と考える。 市が持つ行政情報を、職員の負担なく地図上に落とし込むことができるようにしたい。その地図情報を直感的な操作で、分析したり資料として利用したりできるようにしたい。ひいてはオープンデータとして発信し、広く利用されているアプリ・ツールへの掲載を促したい。</p>
3	教育	山形県	南陽市全域	<p>●高校生のまちづくりへのICT活用 【背景】南陽市内唯一の高等学校では、地域探究学習に力を入れており、学校外での地域活動にも積極的に参画する生徒が多く、学校と地域、行政が連携してふるさとを愛する未来の人材育成に取り組んでいる。高校の「総合的な探究の時間」授業では、地域をテーマにした地域探究に特化し、地域や行政、高等教育機関と連携したプログラムを在学3年間の展望を見据えて実施している。 【現状の取組】「総合的な探究の時間」授業で得た学びを実践展開するための学習の延長と深化の場として、令和2年12月に「高校市役所部」というボランティアサークルを高校と市役所が共同で立ち上げ、学校と学校外の活動を連結し実践的なまちづくり活動を行っている。 【課題】高校生はICTの活用に長けている一方で、公共交通機関が十分でないことから自主的な行動範囲が限られ、フィールドワーク等の移動学習を行うためには様々な制約がある。このような制約がある高校生が広くリサーチし、広域的な交流と関わりを通して自らの地域を探り、高校生ならではのまちづくりにつなげるためには、DXを活用した若者ならではの強みを生かす手法の積極的な導入の必要性を感じるが、ICTに専門的な知識を持たない年配者が指導を行っていることから、活動主体は高校生でも、結果的にその強みが生かされず、新たな地域づくりや次代の人材育成につなげていないのではないかと懸念している。</p>
4	環境	福島県	福島市中心市街地	<p>●ムクドリ生態、行動調査システムの構築 中心市街地を畴(ねぐら)とするムクドリに対し、ドローンカメラ(定点カメラ)による観測を継続し、その個体数、群数、おおよその飛来時間・距離・高度、方向をデータとして蓄積する。 AI等の技術を活用し、その行動範囲を予測することで、昼間に活動、餌場としている範囲の予測、また、畴からの追い払い後の影響を予測し、農地・樹園地等への被害対策に活用する。</p>